

得点		演習問題	実施日	月	日	氏名	
				奈良時代～平安時代 ①			

【1】 次の文を読んで後の問いに答えなさい。

8世紀の中ごろになると、悪い病気がはやったり(①)の争いがおこったりして、世の中がみだれはじめた。地方の(②)の中には、重い(③)や労働のきびしさにたえかねて、国から与えられた(④)からにげ出すものも出てきた。このようなありさまをみて、聖武天皇は(⑤)の力によって、平和な世の中をさずこうと考え、国ごとに(⑥)をつくることを命じた。また、都には(⑦)を建てて、そこに高さが16mもある(⑧)をつくった。さらに(⑨)という建物が建てられ、そこには天皇が生前使っていた道具が納められた。聖徳太子のときの隋との交流にかかわって、このころになると(⑩)との結びつきが強くなった。多くの留学生や僧が中国へ渡り学問をした。これを(⑪)という。なかでも「天の原ふりさけみれば春日なる三笠の山にいでし月かも」とよんだ(⑫)は一生中国ですごすことになった。また中国の僧(⑬)は、5度の航海の失敗にもかかわらず12年目に日本に来ることを果たし、仏教の発展に力をつくした。

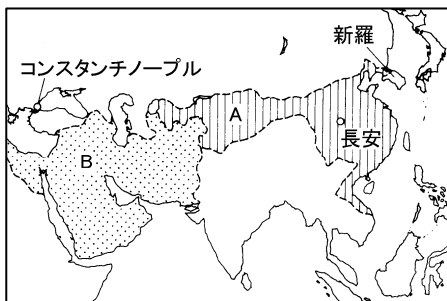
(1) 文中の①～⑬に当てはまる語句を下のア～ソから選び、記号で答えなさい。

- ①() ②() ③() ④()
 ⑤() ⑥() ⑦() ⑧()
 ⑨() ⑩() ⑪() ⑫()
 ⑬()

- ア 鑑真 イ 大仏 ウ 正倉院 エ 阿倍仲麻呂
 オ 法隆寺 カ 東大寺 キ 国分寺 ク 農民
 ケ 貴族 コ 唐 サ 遣唐使 シ 土地
 ス 租税 セ 仏教 ソ 律令

(2) この当時につくられた書物のうち、現在にまで残されている次のような内容をもつ書物は何ですか。

- ① 720年、舎人親王が中心となって編集したもので、天皇家を中心に神話や歴史が書かれている。 ()
 ② 713年、元明天皇が諸国に命じてつくらせた書物で、各地の地理、産物、伝承などがまとめられている。 ()
 (3) この当時、各地に土木工事をを行い、民衆から信頼を集めた僧はだれですか。 ()
 (4) 下の地図中のA、Bの国は、それぞれ何という国ですか。



- A()
 B()

- (5) Aの国の都、長安にならって、8世紀の初めにつくられた日本の都を何といいますか。 ()
 (6) 日本から、Aの国に送られた留学生たちが日本に移入したAの国の制度を何といいますか。 ()

【2】 次の文を読んであとの問いに答えなさい。

A8世紀の終わりごろ、(ア)天皇は、B都を平城京からいまの京都にうつした。また、国内の農業を進めたり、橋や道路を直したり、(イ)を東北につかわして「えぞ」をしずめたりした。この時代の初めに(ウ)と(エ)という僧が中国にわたって学び、C新しい仏教を伝えた。奈良時代の中ごろ、新しく開こんだ土地が、その人のものとして認められると、貴族や寺社は私有地を広げていった。Dこれらの私有地は、やがて税金を納めなくてよくなり、こうして大化の改新のときにきめられた(オ)の法はくずれてしまった。この時代、E貴族の中でとくに栄えたのは(カ)氏で、Fその一族のものは、つぎつぎに(キ)や(ク)となって政治を行った。

(1) 文中の(ア)～(ク)にあてはまることばを答えなさい。

- ア() イ() ウ()
 エ() オ() カ()
 キ() ク()

(2) 下線Aについて、都を京都にうつしたのは西暦何年のことですか。 ()年

(3) 下線Bの京都の都を何といいますか。 ()

(4) 京都に都をうつした理由を答えなさい。
 []

(5) 下線Cの仏教を2つ答えなさい。 () ()

(6) 下線Dの私有地を何といいますか。 ()

(7) 下線Eの(カ)氏が栄えた理由は次のどれですか3つ選びなさい。 () () ()

- ① 大化の改新で活やくした中臣鎌足の子孫であった。
 ② 天皇としんせき関係を結んで勢力をのばした。
 ③ 唐との貿易で、大きな利益を得た。
 ④ 寺院と関係が深く、奈良や京都のお寺から支持を得た。
 ⑤ 多くの私有地を手に入れ、そこから収入を得た。

(8) 下線Eの(カ)氏はだれのとき最も栄えましたか。 ()

(9) 下線Fのような政治を何といいますか。 ()

(10) 下の文の下線部を正しい語句に書き換えなさい。

- ① 藤原道長は、この世に極楽をつくらうと考えて宇治に平等院を建てた。 ()
 ② 最澄は、高野山に金剛峰寺を建てて新しい仏教を広めた。 ()
 ③ 遣唐使をやめるように天皇に進言したのは、坂上田村麻呂である。 ()
 ④ 紀貫之らは、天皇の命によって万葉集をつくった。 ()

得点	演習問題〔解答〕			実施日	月 日	氏名

【1】 次の文を読んで後の問いに答えなさい。

8世紀の中ごろになると、悪い病気がはやったり(①)の争いがおこったりして、世の中がみだれはじめた。地方の(②)の中には、重い(③)や労働のきびしさにたえかねて、国から与えられた(④)からにげ出すものも出てきた。このようなありさまをみて、聖武天皇は(⑤)の力によって、平和な世の中をきずこうと考え、国ごとに(⑥)をつくることを命じた。また、都には(⑦)を建てて、そこに高さが16mもある(⑧)をつくった。さらに(⑨)という建物が建てられ、そこには天皇が生前使っていた道具が納められた。聖徳太子のときの隋との交流にかかわって、このころになると(⑩)との結びつきが強くなった。多くの留学生や僧が中国へ渡り学問をした。これを(⑪)という。なかでも「天の原ふりさけみれば春日なる三笠の山にいでし月かも」とよんだ(⑫)は一生中国ですごすことになった。また中国の僧(⑬)は、5度の航海の失敗にもかかわらず12年目に日本に来ることを果たし、仏教の発展に力をつくした。

(1) 文中の①～⑬に当てはまる語句を下のア～ソから選び、記号で答えなさい。

- ①(ケ) ②(ク) ③(ス) ④(シ)
 ⑤(セ) ⑥(キ) ⑦(カ) ⑧(イ)
 ⑨(ウ) ⑩(コ) ⑪(サ) ⑫(エ)
 ⑬(ア)

- ア 鑑真 イ 大仏 ウ 正倉院 エ 阿倍仲麻呂
 オ 法隆寺 カ 東大寺 キ 国分寺 ク 農民
 ケ 貴族 コ 唐 サ 遣唐使 シ 土地
 ス 租税 セ 仏教 ソ 律令

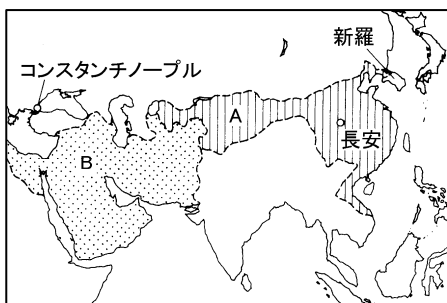
(2) この当時につくられた書物のうち、現在にまで残されている次のような内容をもつ書物は何ですか。

① 720年、舎人親王が中心となって編集したもので、天皇家を中心に神話や歴史が書かれている。
 (日本書紀)

② 713年、元明天皇が諸国に命じてつくらせた書物で、各地の地理、産物、伝承などがまとめられている。
 (風土記)

(3) この当時、各地に土木工事をを行い、民衆から信頼を集めた僧はだれですか。
 (行基)

(4) 下の地図中のA、Bの国は、それぞれ何という国ですか。



- A(唐)
 B(イスラム帝国)

(5) Aの国の都、長安にならって、8世紀の初めにつくられた日本の都を何といいますか。
 (平城京)

(6) 日本から、Aの国に送られた留学生たちが日本に移入したAの国の制度を何といいますか。
 (律令制度)

【2】 次の文を読んであとの問いに答えなさい。

A8世紀の終わりごろ、(ア)天皇は、B都を平城京からいまの京都にうつした。また、国内の農業を進めたり、橋や道路を直したり、(イ)を東北につかわして「えぞ」をしずめたりした。この時代の初めに(ウ)と(エ)という僧が中国にわたって学び、C新しい仏教を伝えた。奈良時代の中ごろ、新しく開こんだ土地が、その人のものとして認められると、貴族や寺社は私有地を広げていった。Dこれらの私有地は、やがて税金を納めなくてよくなり、こうして大化の改新のときにきめられた(オ)の法はくずれてしまった。この時代、E貴族の中でとくに栄えたのは(カ)氏で、Fその一族のものは、つぎつぎに(キ)や(ク)となって政治を行った。

(1) 文中の(ア)～(ク)にあてはまることばを答えなさい。

- ア(桓武) イ(坂上田村麻呂) ウ(最澄)
 エ(空海) オ(班田収受) カ(藤原)
 キ(摂政) ク(関白)

(2) 下線Aについて、都を京都にうつしたのは西暦何年のことですか。
 (794年)

(3) 下線Bの京都の都を何といいますか。
 (平安京)

(4) 京都に都をうつした理由を答えなさい。
 [僧が政治に口出しをするようになったから]

(5) 下線Cの仏教を2つ答えなさい。
 (天台宗) (真言宗)

(6) 下線Dの私有地を何といいますか。(荘園)

(7) 下線Eの(カ)氏が栄えた理由は次のどれですか3つ選びなさい。(①)(②)(⑤)

- ① 大化の改新で活やくした中臣鎌足の子孫であった。
 ② 天皇としんせき関係を結んで勢力をのばした。
 ③ 唐との貿易で、大きな利益を得た。
 ④ 寺院と関係が深く、奈良や京都のお寺から支持を得た。
 ⑤ 多くの私有地を手に入れ、そこから収入を得た。

(8) 下線Eの(カ)氏はだれのとき最も栄えましたか。
 (藤原道長)

(9) 下線Fのような政治を何といいますか。
 (摂関政治)

(10) 下の文の下線部を正しい語句に書き換えなさい。

- ① 藤原道長は、この世に極楽をつくらうと考えて宇治に平等院を建てた。
 (藤原頼通)
 ② 最澄は、高野山に金剛峰寺を建てて新しい仏教を広めた。
 (空海)
 ③ 遣唐使をやめるように天皇に進言したのは、坂上田村麻呂である。
 (菅原道真)
 ④ 紀貫之らは、天皇の命によって万葉集をつくった。
 (古今和歌集)